

# 稼ぐためのホームページビルダーの使い方

ホームページビルダーはホームページを簡単に作るためのソフトですが、初心者が何も知らずに使い始めると思わぬ遠回りをする場合があります。

というのも、たいていのソフトはそうなのですが、「機能が多すぎて混乱してしまう」のです。

あなたの目的は、カッコいいホームページを作ることはありません。インターネットを使って「稼ぐ」ことです。余計な機能など覚える必要はありません。

そこで、です。

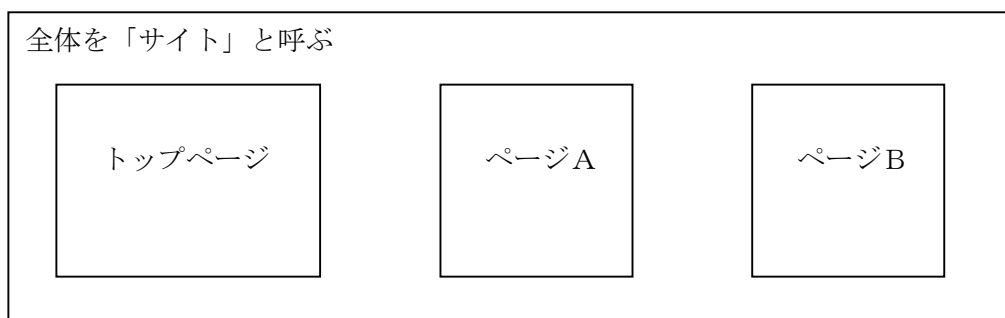
このレポートではホームページビルダーの「必要最小限の機能を使って」「効率的に」ホームページを作成する方法を伝授いたします。

ホームページ作成については、当面、ここに書いてあることができれば困りません。

稼ぐのに、無駄な機能を学習する必要は一切ありません。インターネットビジネスの世界は時間との戦いですから、必要最小限の技術だけを学んでいきましょう。

## 1. 「サイト」をつくろう！

ホームページビルダーを使うには、最初に「サイトの設定」というのを行います。これをやっておくと、作業効率が格段に高まります。サイトとは、みなさんが「ホームページ」と呼んでいるもののことです。サイトの中の1ページ1ページを、「ページ」といいます。



ホームページビルダーでは、最初に「サイトの作成」というのをします。別にサイトの作成をしなくても、個々のページを作成していくこともできますが、サイトの作成をしておくといろいろと便利ですので、やっておきましょう。

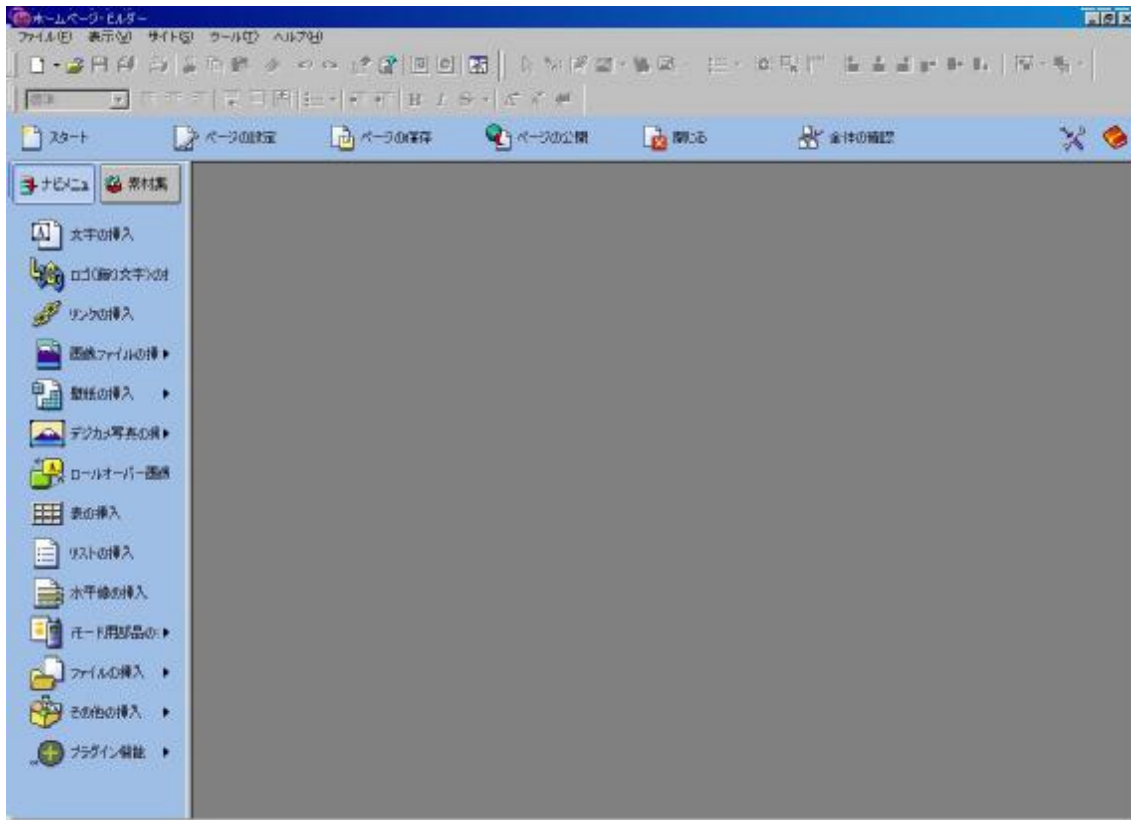
ではいきます。

まずはデスクトップに新しいフォルダを作りましょう。デスクトップ上で

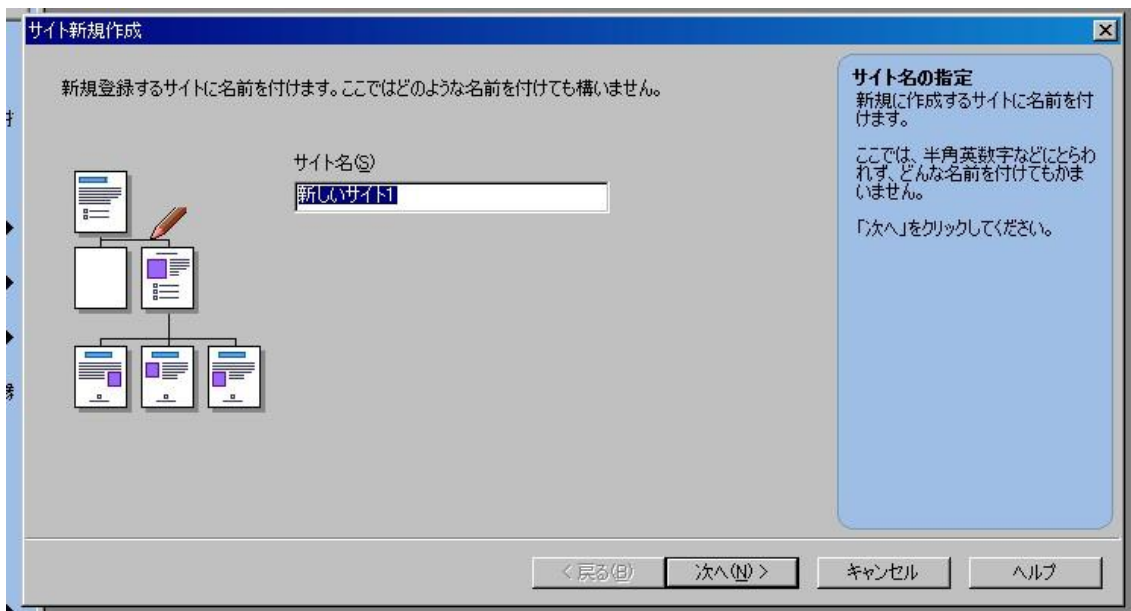
右クリック→新規作成→フォルダ

で新しいフォルダを作成してください。フォルダ名は、ここでは「実験」とします。

次に、ホームページビルダーを立ち上げてみてください。



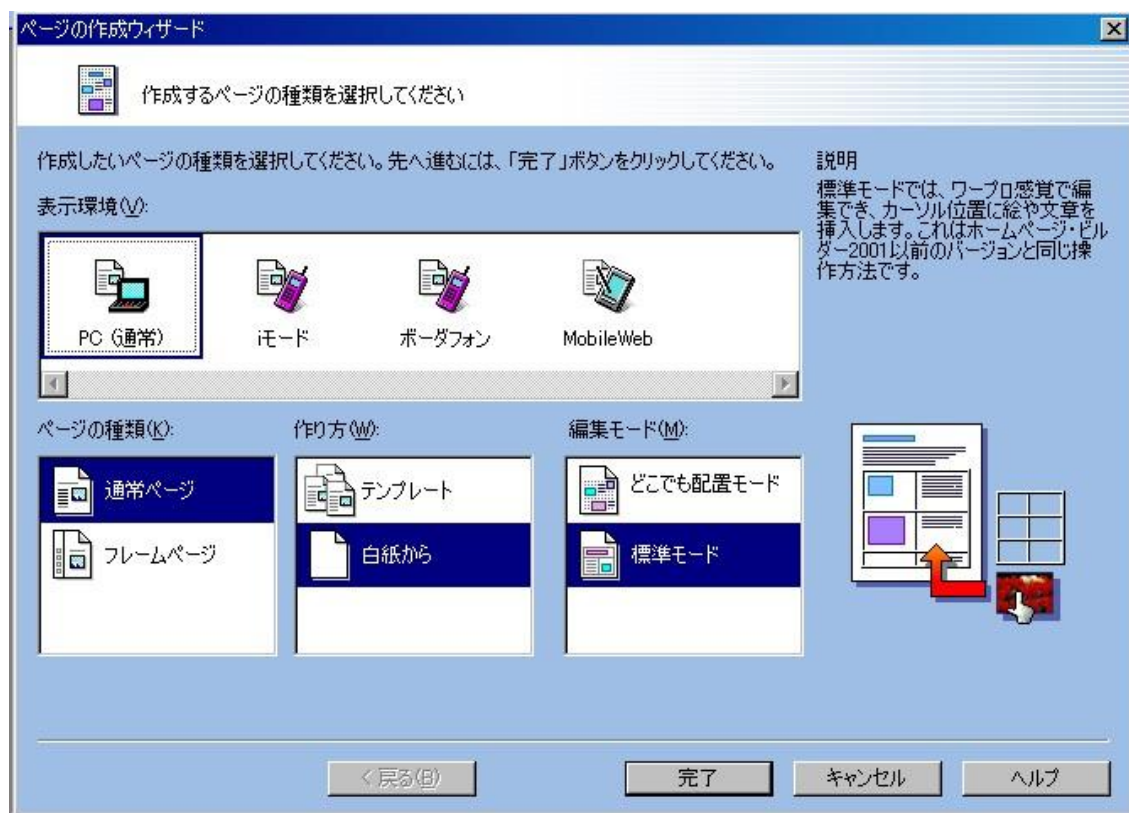
一番上のメニューの段に、「サイト」というのがありますね。ここをクリックして、「サイトの新規作成」を選びましょう。そうすると、ウィザード(ボックスのこと)が開きます。



あなたが今から作るホームページのサイトタイトルをつけましょう。例えば、「ホームページの作り方」というサイトを作るのであれば、そう入れます。

次の画面で、「新規にトップページを作る」を選択して、「次へ」をクリックします。そして、トップページのファイル名を「index.html」にして（これが一番いいです）、「参照」ボタンを押します。ファイルのツリーが表示されますので、先ほど設定したデスクトップの「実験」フォルダを選択しましょう。

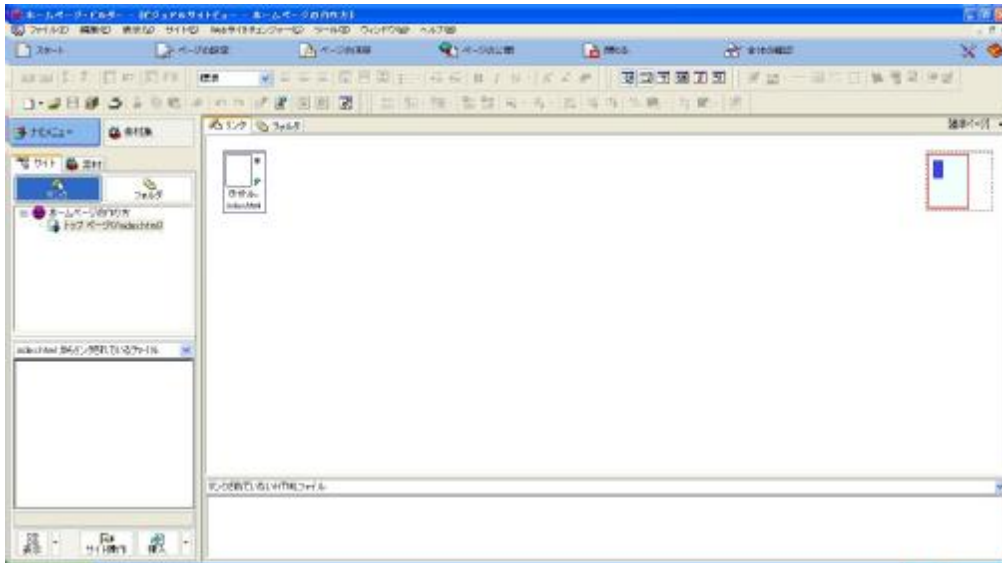
最後に、このようなページが表示されますので



「通常ページ」「白紙から」「標準モード」を選びます。そして完了ボタンを押してください。

「転送設定を行いますか？」という表示が出ますが、これは「いいえ」で結構です。

一度ホームページビルダーを閉じて、立ち上げなおしてください。 サイト→サイトを開く で、今設定したサイトを開いてみましょう。

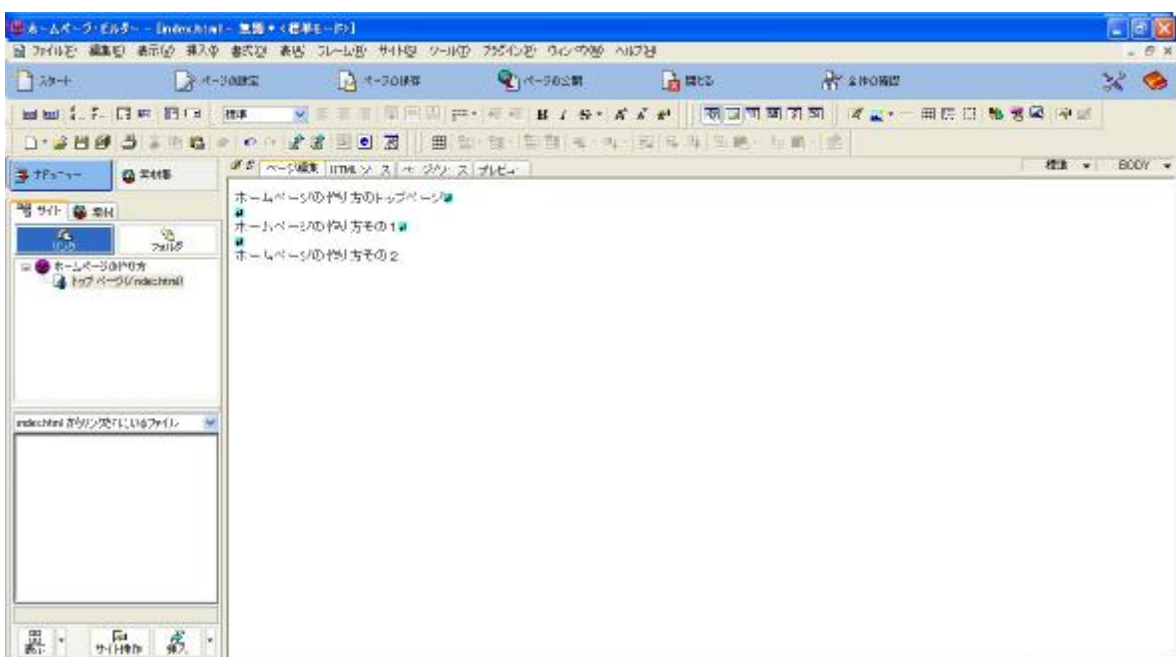


こんな感じで出てくるとおもいます。

## 2. ページを作成してみる

さて、それでは次に、実際にページを作成してみます。上の画面にある「index.html」をダブルクリックしてください。そうすると、真っ白なページが出てきますね。

ここに、「ホームページの作り方のトップページ」と打ち込んでみましょう。そして改行して、一行空けた後に「ホームページの作り方その1」、また改行して一行空けた後に、「ホームページの作り方その2」と打ってみてください。こんなふうになるはずです。



では、「全体の確認」ボタンを押してみましょう(「ファイル→閉じる」でもOKです)。そうすると、「編集  
中のファイルの保存」というボックスが出てきますので、「保存」を押して保存します。

一度、ホームページビルダーを閉じて立ち上げなおしてみましょう。サイトを開いて、「index.html」をダ  
ブルクリックすると、きちんと保存されているのがわかると思います。

### 3. ページを増やしてリンクを貼る

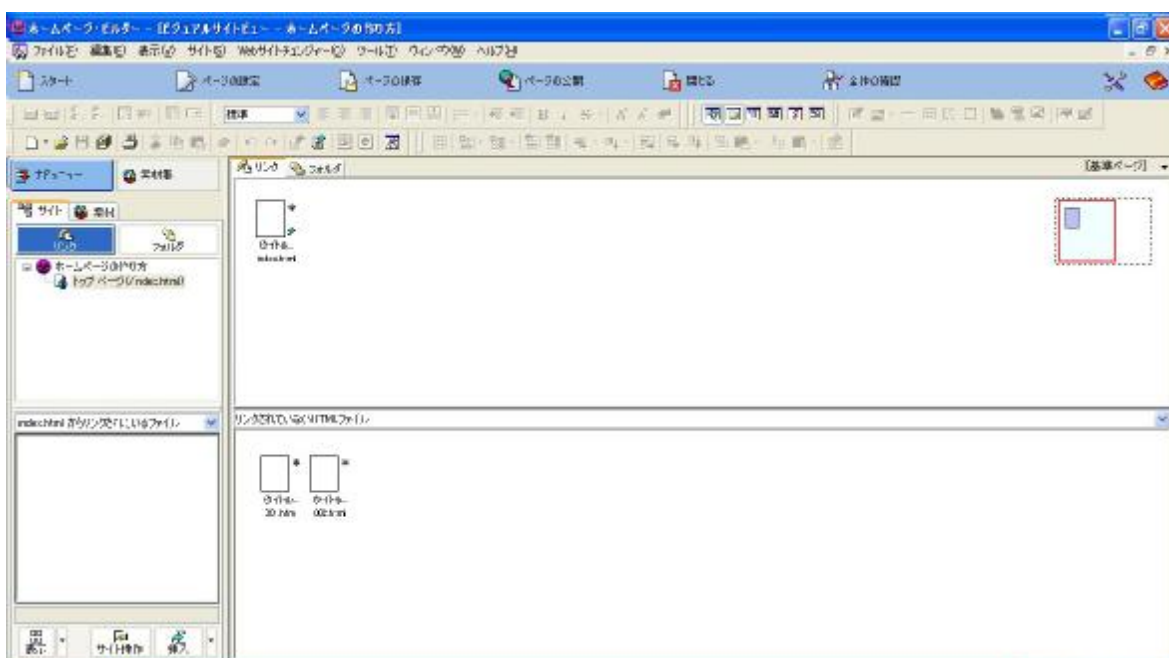
さて、では次に、ページを増やしてリンクを貼ってみます。

「ファイル」から、「標準モードで新規作成」を選びます。新しい真っ白なページがでてきますので、「ホ  
ームページの作り方その1」と入力しましょう。そして、「全体の確認」→「保存」と進みます。

最後に、「名前をつけて保存」というボックスが出てきますので、保存先のフォルダが「実験」であるこ  
とを確認し、保存しましょう。ちなみに、ファイル名にはアルファベットと数字しか使えませんので注意  
してください。ここでは、ファイル名を「001.html」とします。

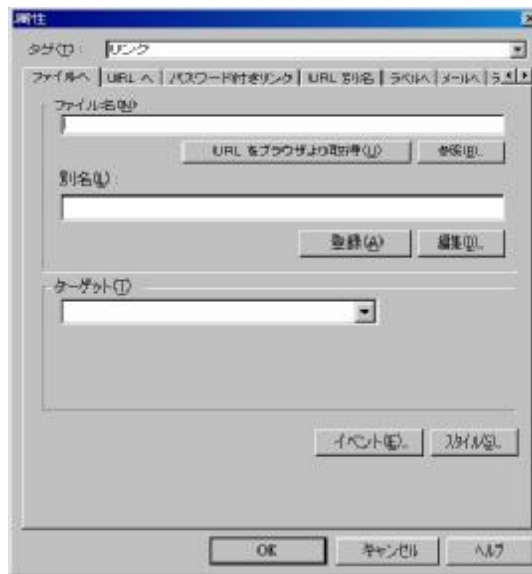
さらにもうひとつ新しいページを作成しましょう。ファイルから「標準モードで新規作成」を選び、「ホ  
ームページの作り方その2」と入力して保存します。ファイル名は「002.html」にします。

こうして新しいページがふたつ作成されました。全体の確認画面ではこうなっていると思います。

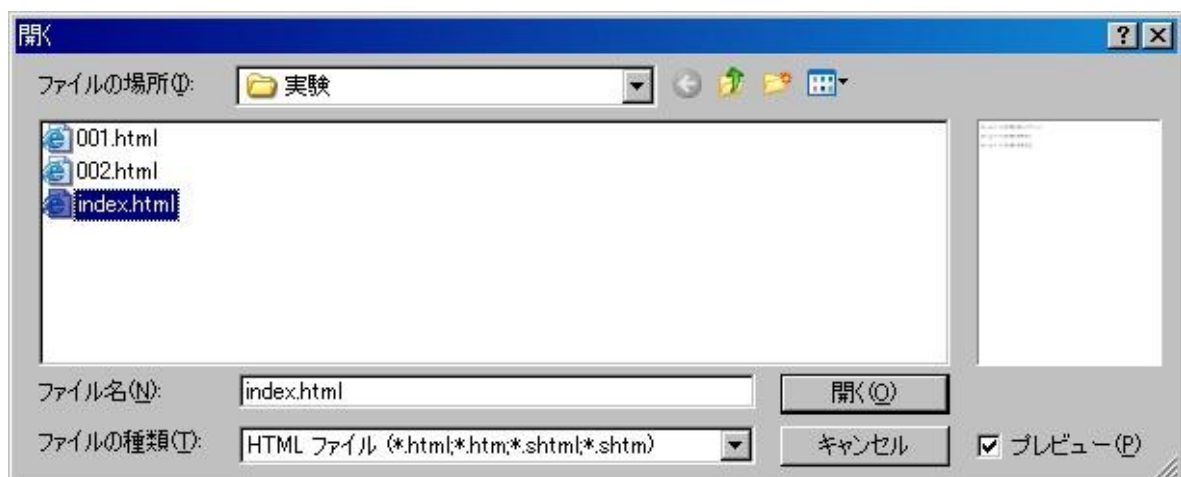


では、最初に作成したトップページをダブルクリックして開いてください。

そして、先ほどタイプした「ホームページの作り方その1」という文字列をドラッグして、選択状態にしてから「右クリック→リンクの設定」を選びます。すると、こんな画面が出てきます。



「参照(B)」というボタンを押してください。するとこんな画面が出てきますので、「001.html」を選択して、「開く」をクリックしましょう。



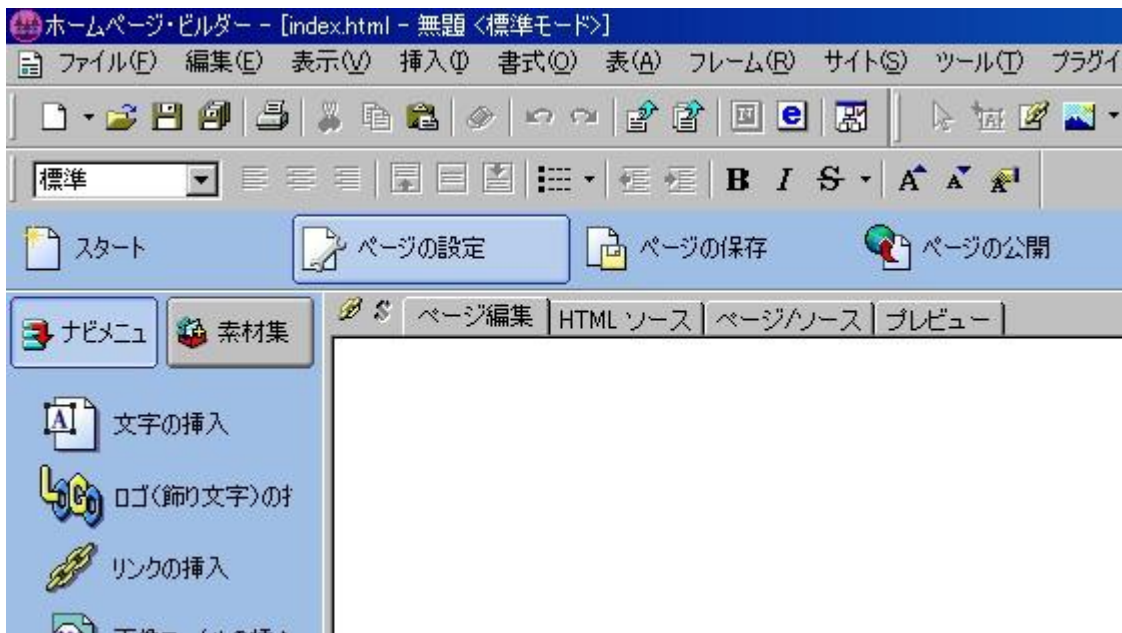
するとまた先ほどの画面に戻りますので、「ターゲット」から「新しいウインドウ」を選んで「OK」をクリックします。

さて、これでリンクの設定は完了です。プレビューボタンを押してみてください。リンク状態になって、クリックできるようになっていますね。これで、リンクの設定は完了です。「002.html」の方もリンクを設定してみましょう。

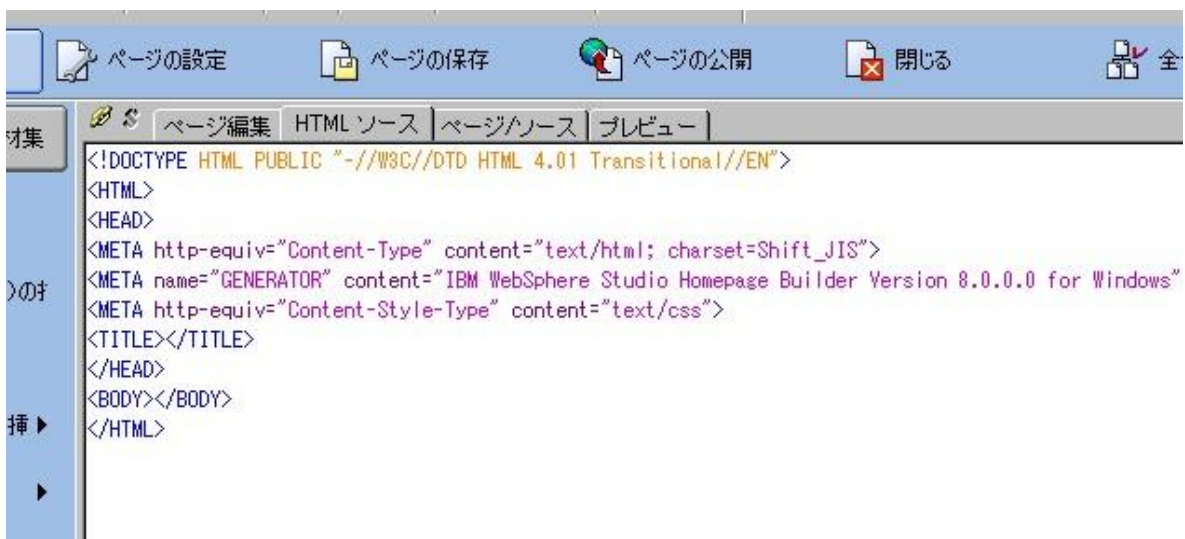


ちなみに、最後に設定した「ターゲット」というのは、「新しいウインドウ」にすると、リンクをクリックしたときに別ウインドウで表示するようになります。「同一のウインドウ」にすると、同一ウインドウのまま画面が切り替わるようになります。試してみてください。

次に、ここにアフィリエイトリンクを挿入してみます。こちらの「HTMLソース」というタブをクリックしてください。



そうすると、



このように、ホームページを構成するプログラムが出てきます。このプログラムのことを「HTML」といいます。

アフィリエイトをするには、このHTMLの知識は必須です。簡単に説明しておきます。

まず、HTMLとは何なのか、それから学んでいきましょう。

私たち日本人は、日本語を使って意思の疎通をはかります。

「りんごはおいしい」ということを伝えたいければ、「りんごはおいしい」を口でしゃべるか、あるいは紙に書けばいいだけのことです。

しかし、コンピュータに向かって

「ホームページに“りんごはおいしい”という文章を出せ！！」といくら言葉で話しても通じません（想像すると不気味ですね・・・）。

そこで、コンピュータに「りんごはおいしい」と表示させるには、プログラムというコンピュータにもわかる言葉で命令を与えなければならないのです。

このプログラム、すなわち「コンピュータにもわかる言葉」にはさまざまなものがありますが、「ホームページに文章を表示させたり画像を表示させたりするための命令ことば」のことを「HTML」というのです。

例えば、ホームページで次のような文章を表示させるときには、どのようなプログラムになるのか見てみましょう。

宅建試験に合格するには、過去問練習が必須です

これをHTMLにすると、こうなります。

宅建試験に<B>合格</B>するには、過去問練習が必須です

このように、文字そのものは、そのまま打てば、普通に表記されます。

「合格」という文字の両脇にある<B></B>は、太字タグといいます。

<B></B>などのようなHTML命令文のことを、HTMLでは「タグ」と呼びます。

<B></B> は、“この間にはさんである文字を太字にしてください”という意味の命令タグです。

つまり、HTMLでは文章を装飾するために、タグを使用するわけです。タグは基本的にふたつ一組になっていて、装飾する文章を挟み込むようにして記述します。

では、今度はホームページビルダーの標準モードを使って、例文を打ってみましょう。

宅建試験に合格するには、過去問練習が必須です

と、タイピングしてください。これを、ホームページビルダーの「HTMLソース」をクリックすることで、HTMLに変換された文を見えます。

すると・・・最初に示したように単純な文ではないですね。なにやらごちゃごちゃしています。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<HTML>
<HEAD>
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<META name="GENERATOR" content="IBM WebSphere Studio Homepage Builder Version 8.0.0.0
for Windows">
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<TITLE></TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<P>宅建試験に<B>合格</B>するには、過去問練習が必須です
</P>
</BODY>
</HTML>
```

なぜたった一行の文章をあらわすのに、こんなに長いHTMLになってしまうのでしょうか。

実は、HTMLには次のような決まりがあるからです。

★最初に必ず次の文を入れる

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
```

★HTMLは、<HTML>タグと</HTML>タグの間に記述する

★<HTML>タグと</HTML>タグの間には、<HEAD>と</HEAD>の間の、ヘッダーと呼ばれる部分と、<BODY>と</BODY>の間の、本文と呼ばれる部分をつくる。

### ★メタタグを付ける

メタタグとは、METAで始まるこのタグのことです。

```
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">  
<META name="GENERATOR" content="IBMWebSphere Studio Homepage Builder Version 8.0.0.0  
for Windows">  
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
```

通常タグはふたつ一組になっていますが、メタタグは数少ない独立したタグのひとつです。

どんなホームページであっても、必ずこの決まりを守らなければならないようになっています。ですから、たった一行の文章を書くだけでも、こんなに長くなってしまいます。

ちなみに、ヘッダ部分は、例えるならホームページの名札の機能を果たします。「このホームページはこれこれこういう内容のホームページですよ～」という、要約部分なわけです。

ヘッダ部分は私たちの目には見えません。目に見えるのは、あくまでも<BODY>から</BODY>部分だけです。ですから、検索エンジン上位表示対策をするとき以外は、ヘッダ部分をいじくることはまずありません。

これで、HTMLの全体構造がつかめたでしょうか。

では次に、具体的にアフィリエイトのリンクを貼ってみましょう。

例えば、このようにリンクを貼りたいときはどうしたらいいのでしょうか。

宅建試験に**合格**するには、過去問練習が必須です  
過去問練習に最適な予備校は、ここ！！→



宅建試験に**合格**するには、過去問練習が必須です  
過去問練習に最適な予備校は、ここ！！→[資格の学校TAC](#)

これをHTMLソースモードで見ると、こうなります。

```
<P>宅建試験に<B>合格</B>するには、過去問練習が必須です<BR>  
過去問練習に最適な予備校は、ここ！！→</P>
```

この矢印のすぐ後ろに、バリューコマースなどから配布されているアフィリエイトリンクコードを貼り付ければいいだけです。

<P>宅建試験に<B>合格</B>するには、過去問練習が必須です<BR>  
過去問練習に最適な予備校は、ここ！！→[リンクコード](#)</P>

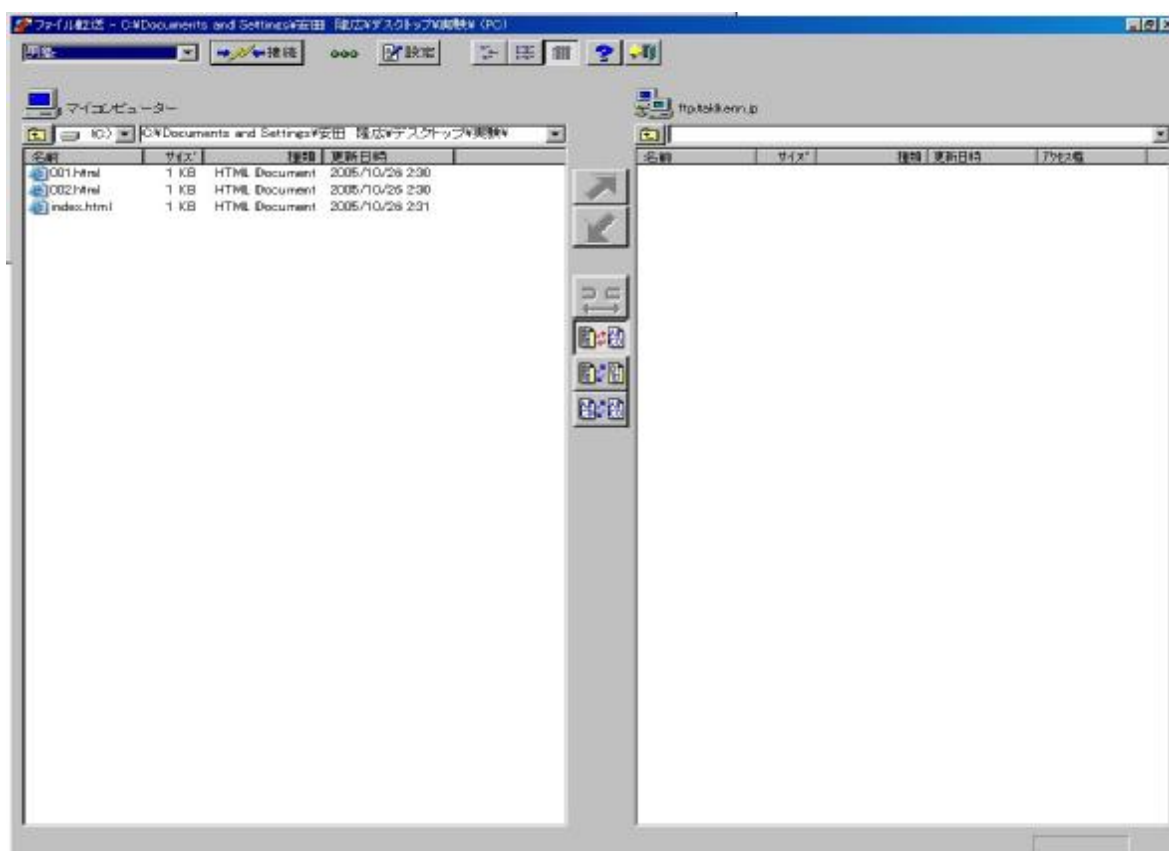
このように、リンクコードを埋め込んでいきます。リンクコードを埋め込んでサーバーにアップすると、アフィリエイトリンクが設定できていることが確認できます。

バナーの場合も、同様に処理すればOKです。

#### 4. サーバーにアップする

さて、では次に、作成したファイルをサーバーにアップする方法です。

ホームページビルダーのメニューから、「ツール→FTPツールの起動」を選んでください。こんな画面が出てくるはずですよ。



では、まず上部にある「設定」ボタンを押して、レンタルサーバー業者から配布されているパスワードなどを入れてください。設定が終わったらOKボタンを押してください。

次に、接続ボタンを押して、サーバーに接続します。

画面右側に出てくるのが、サーバーの中です。最初はレンタルサーバー側の初期設定フォルダくらいしかありません。

レンタルサーバー側から、「ホームページのアップロードは●●フォルダ内に行ってください」という指示があるのであれば、そのフォルダを選択します。画面上でクリックできますので、ダブルクリックして指定のフォルダ内に進みましょう。

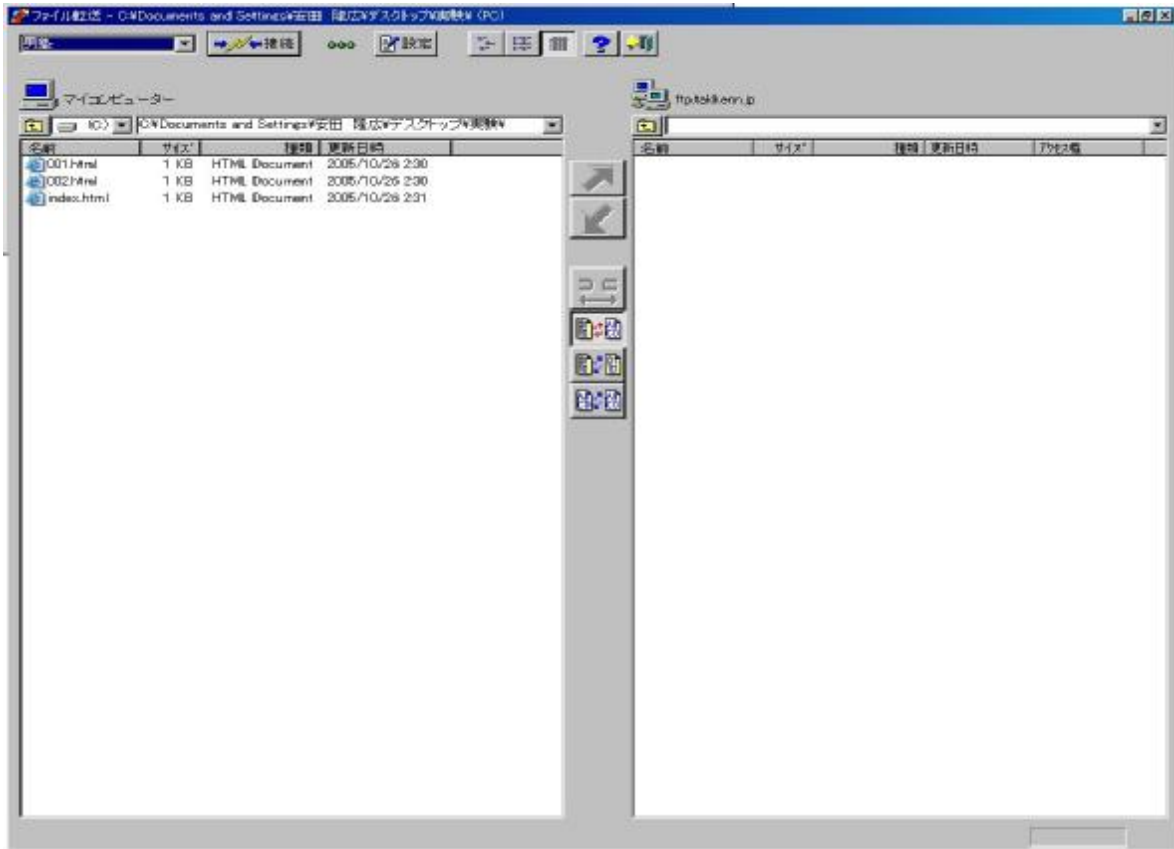
次に左側のファイルから、アップロードしたいファイルを選びます。コントロールキーを押しながらクリックすると複数選択可能ですので、一気に選択してもOKです。

さて、アップロードするファイルを選択したら、真ん中の矢印ボタンの上のものをクリックしましょう。

これで、サーバーへのアップロードは完了です。

★ ひとつのドメイン内に複数のサイトを作る場合

これには、下層フォルダを増やしていき、そのフォルダに新しいサイトのファイルをアップしていくという方法をとります。さきほどのこの画面で、



右半分(サーバーエリア)で、「右クリック→新しいフォルダを作成」してください。フォルダ名は英数字にしましょう。

例えば、「aaaa」というフォルダを作るとします。そしてフォルダをダブルクリックしてください。何も無い画面になると思います。そこに新しいサイトのファイルをアップロードします。

仮にあなたが持っているドメインが <http://www.●●.jp> だとすると、新しいサイトのURLは、<http://www.●●.jp/aaaa/> になります。

このように、どんどん新しいフォルダを作ってその中に新しいホームページのファイルをアップロードしていけば、ひとつのドメインでいくつもサイトを作ることができるようになるわけです。

デザイン的なものとはかくとして、アフィリエイトをするために最低限必要な知識はこれでOKです。

あとは、デザイン的なものを必要に応じて足していくことで、立派なアフィリエイトページが出来上がります。

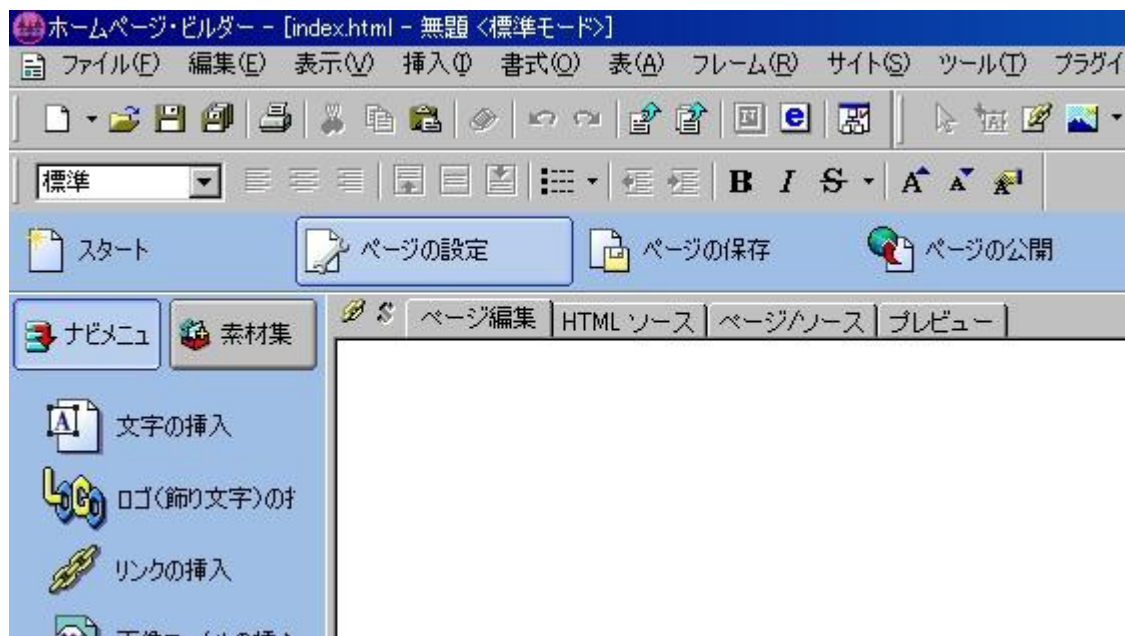
## 5. 実際に作ってみる

では、実際にホームページを作ってみましょう。

ホームページビルダーを立ち上げて、新規のサイト、ページを作成していきます。

真っ白のページに、まずは表を足しましょう。

この画面の上部メニューから、「表」を選んで、「挿入」を選択します。



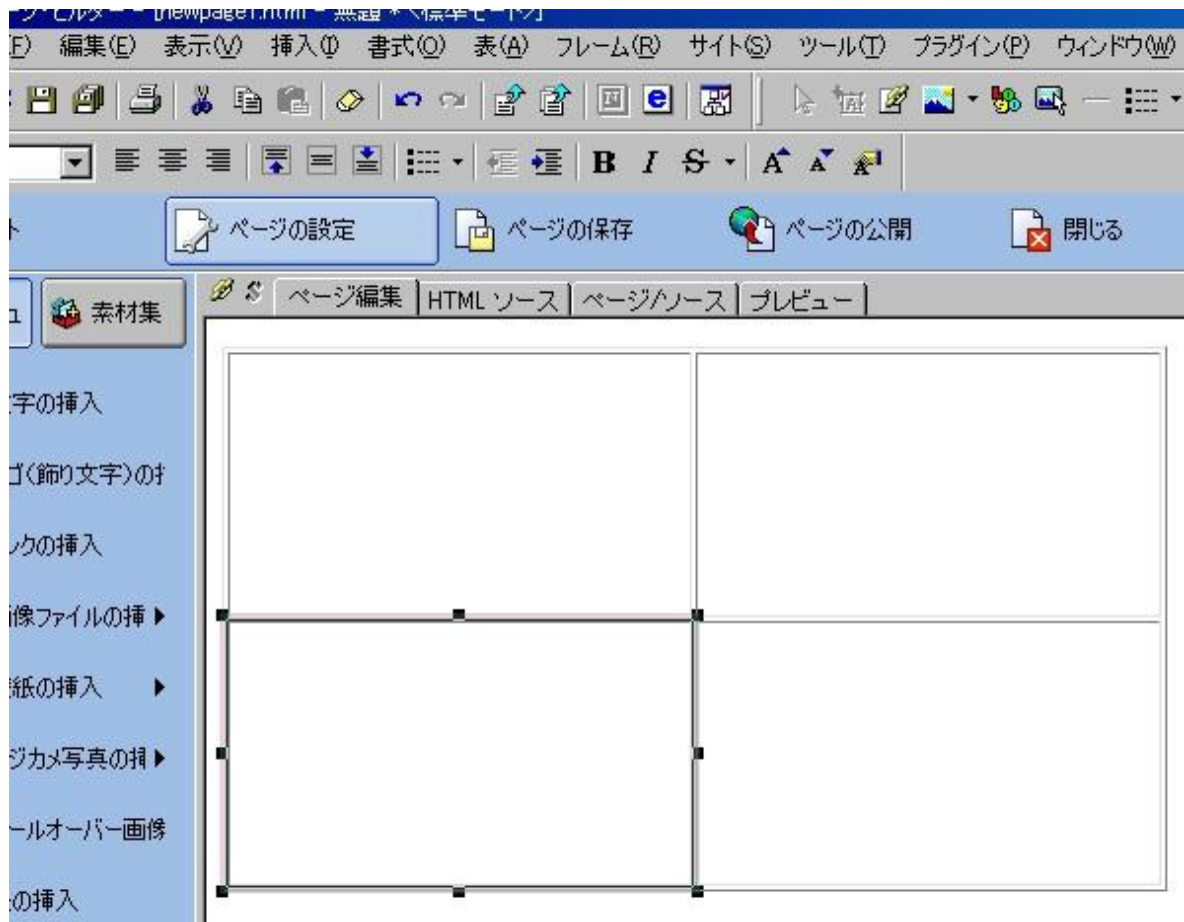
表のセルは2×2でOKです。

さて、まずは表のどこかをクリックしたりドラッグしたりして、何をしたらどうなるのかしばらく試してみてください。

私は、表の端っこをドラッグして大きさを変えてみました。



こんなふうになりました。



ではソースを見てみましょう。こんな感じになっていると思います。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<HTML>
<HEAD>
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<META name="GENERATOR" content="IBM WebSphere Studio Homepage Builder Version 8.0.0.0 for Windows">
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<TITLE></TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<TABLE border="1" width="479" height="276">
<TBODY>
<TR>
<TD></TD>
<TD></TD>
</TR>
<TR>
```

```
<TD></TD>
<TD></TD>
</TR>
</TBODY>
</TABLE>
</BODY>
</HTML>
```

黄色の蛍光ペンを引いているところに注目してください。このタグはみたら何を意味するのかわかるようにしておきましょう。けっこう頻繁に見かけます。

`border="1"`

これは表の枠を表します。数字を0にすると、枠が非表示になります。

`width="479"`

これは、表の幅の大きさを示します。700に設定してください。

`height="276"`

これは表の高さを示します。削除してしまってもかまいません（高さは幅と違って固定する必要ないので）

ということで、

```
<TABLE border="0" width="700">
```

このように修正してみました。

では次に、上部のセルを次のように選択状態にして、右クリックしてください。



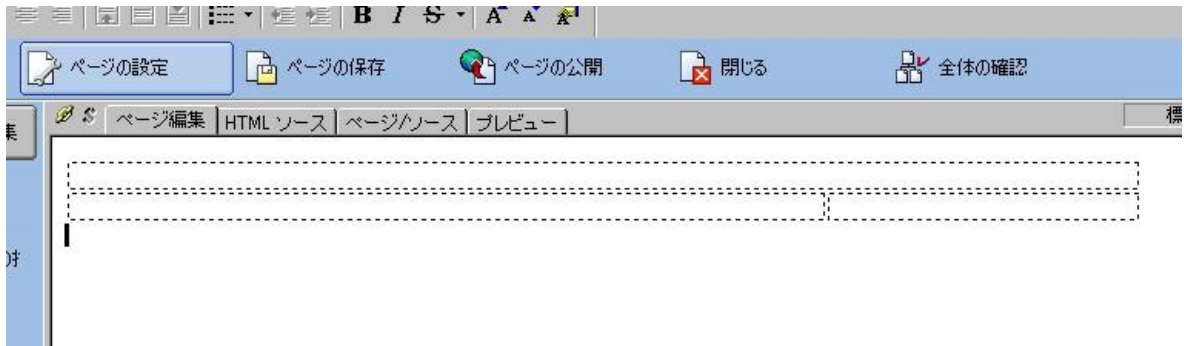
すると、「セルの結合」という項目が出てきますので、結合しましょう。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<HTML>
<HEAD>
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<META name="GENERATOR" content="IBM WebSphere Studio Homepage Builder Version 8.0.0.0 for Windows">
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<TITLE></TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<TABLE border="0" width="700">
  <TBODY>
    <TR>
      <TD colspan="2"></TD>
    </TR>
    <TR>
      <TD></TD>
      <TD></TD>
    </TR>
  </TBODY>
</TABLE>
</BODY>
</HTML>
```

黄色の蛍光ペンのところが、変化していますね。では、ソースのピンクの蛍光ペンのところを、こう変えてみてください。

```
<TD width="490"></TD>
<TD width="200"></TD>
```

ページ編集に戻りますと、こうなっているはずですよ。

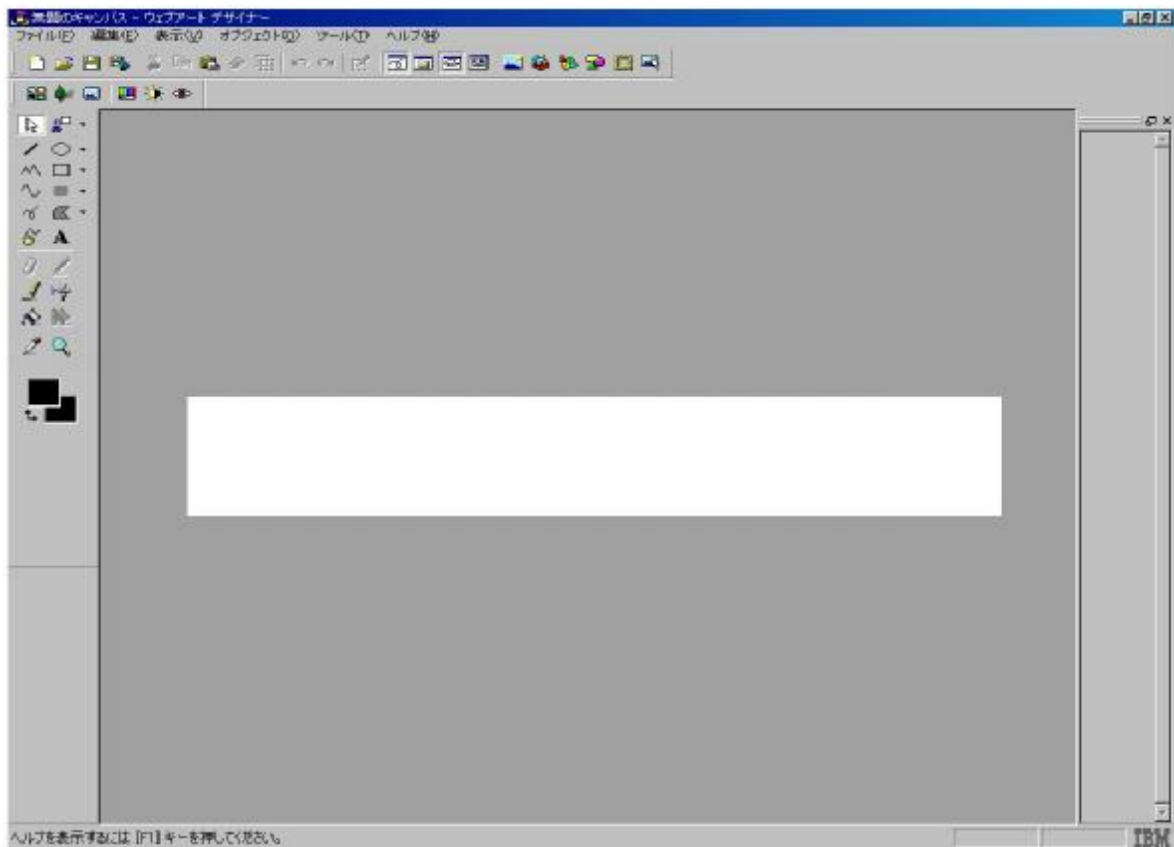


このように、セルの幅を調整していきます。

では、次にメニューのところから、「ツール → ウェブアートデザイナーの起動」を選んでください。

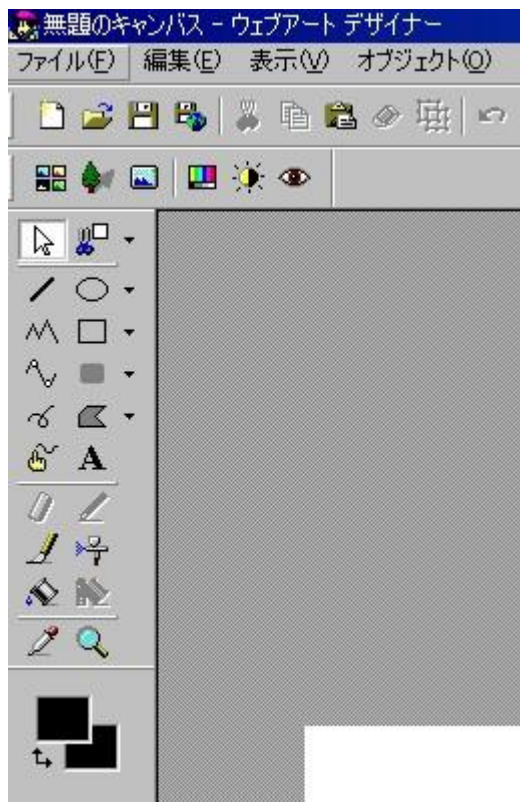
ウェブアートデザイナーというのは、写真やイラストを加工するソフトです。ホームページビルダー内蔵のものですよ。

では、このソフトを使ってちょちょいと写真を書こうしてしまいましょう。



最初に、この画面のメニューから「編集 → キャンパスの設定」で作成する画像の大きさを指定します。表のセルの幅が 700 でしたので、幅 700、高さは 100 くらいでいいでしょう。

では、ここに文字と写真を入れてみます。



この「A」というボタンを押してみてください。これで、文字列を挿入します。

ボタンを押した状態でキャンパス内の適当なところをクリックすると文字が入力できますので、入力してください。

次に、出来た文字列をダブルクリックすると、色の設定、大きさの設定、フォントの設定などが出来るようになります。



ホームページの作り方

さて、次に、画面上部の



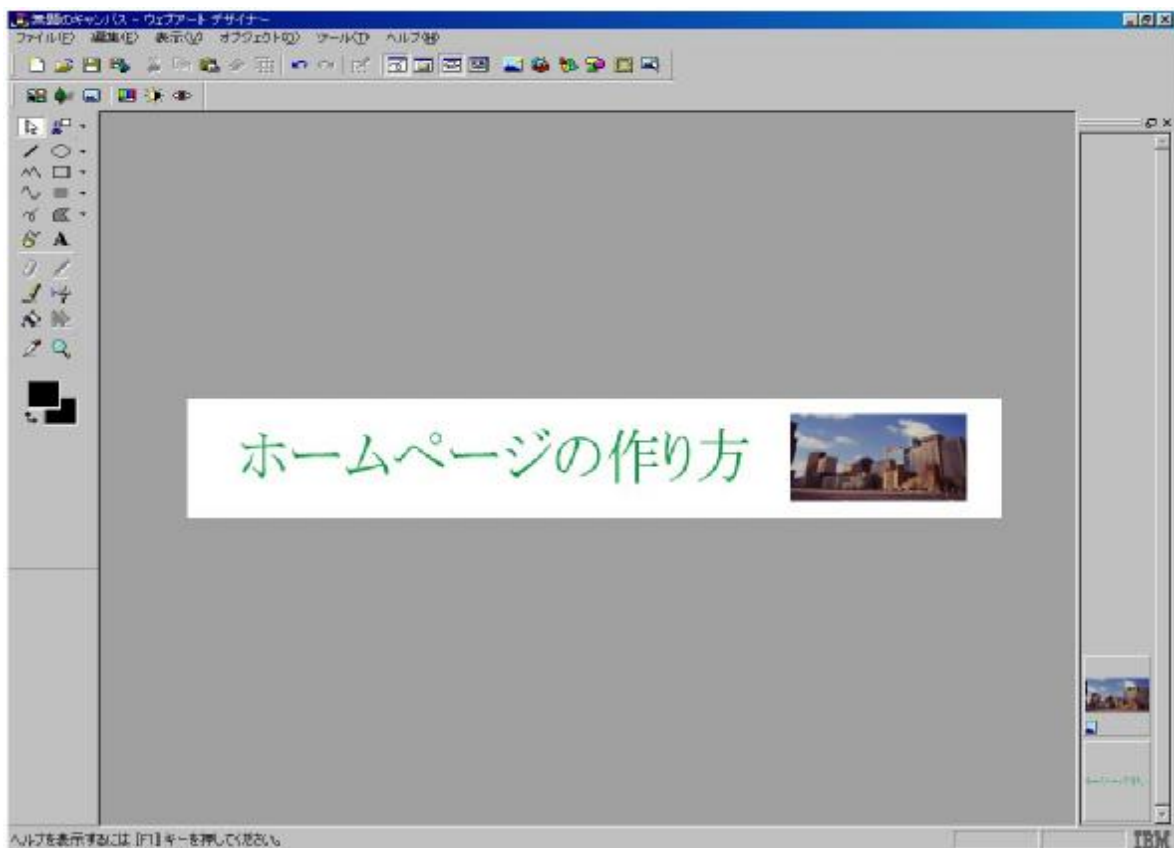
こういうボタンが並んでるところを探してください。

このボタンの、一番左のものをクリックしましょう。

そうすると、ファイルを選択する画面になります。ここで、予め用意しておいた適当な写真を選択し、「開く」ボタンを押しましょう。

画面内に、写真が出てきますね。

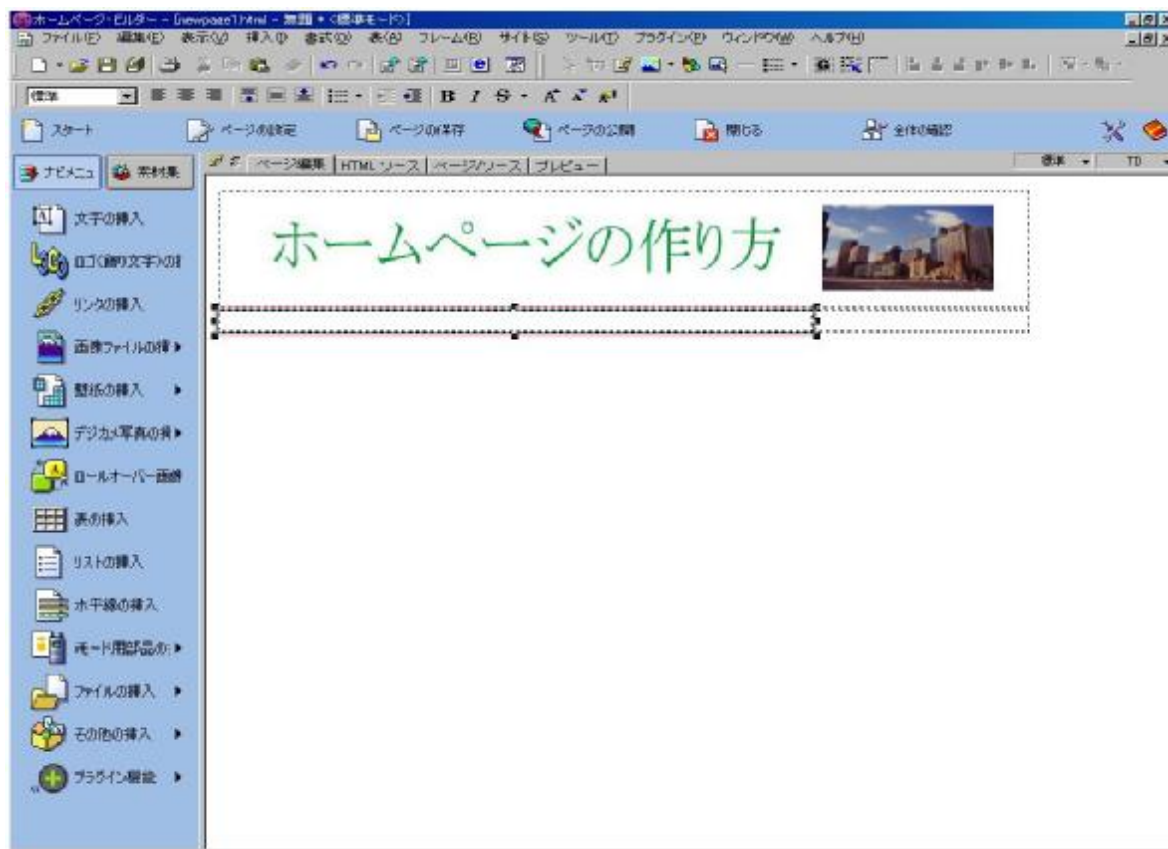
適当な大きさに改造します。



こんな具合になりました。

名前をつけて保存をして、ホームページビルダーに戻りましょう。あ、そうそう、このときに保存する形式は、2種類にしてください。拡張子を「.mif」としたものと、「.gif」としたもののふたつです。「.mif」の方は、ウェブアートデザイナーで再編集可能ですから、いちおうこれもとっておきましょう。

さて、では、ホームページビルダーの表の一番上をクリックして、メニューから「挿入 → 画像ファイル → ファイルから」と進んでください。先ほど作成した「.gif」のファイルを選択します。



こんな感じになりました。

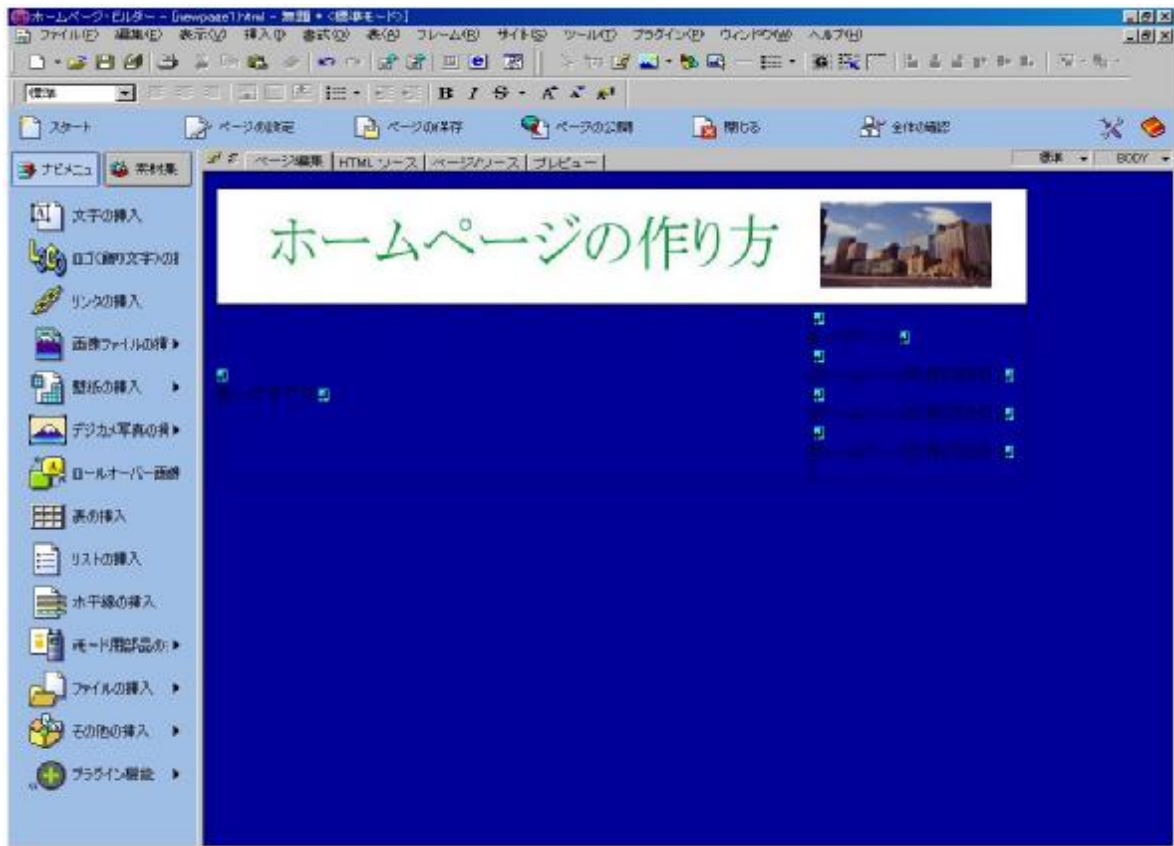
さて、あとは、適当にセル内に文章を打ち込んでいきましょう。

セルの書式設定は(右そろえにしたい、上そろえにしたい、セル内の色を変えたいなど)、右クリック → 属性の変更 で行います。

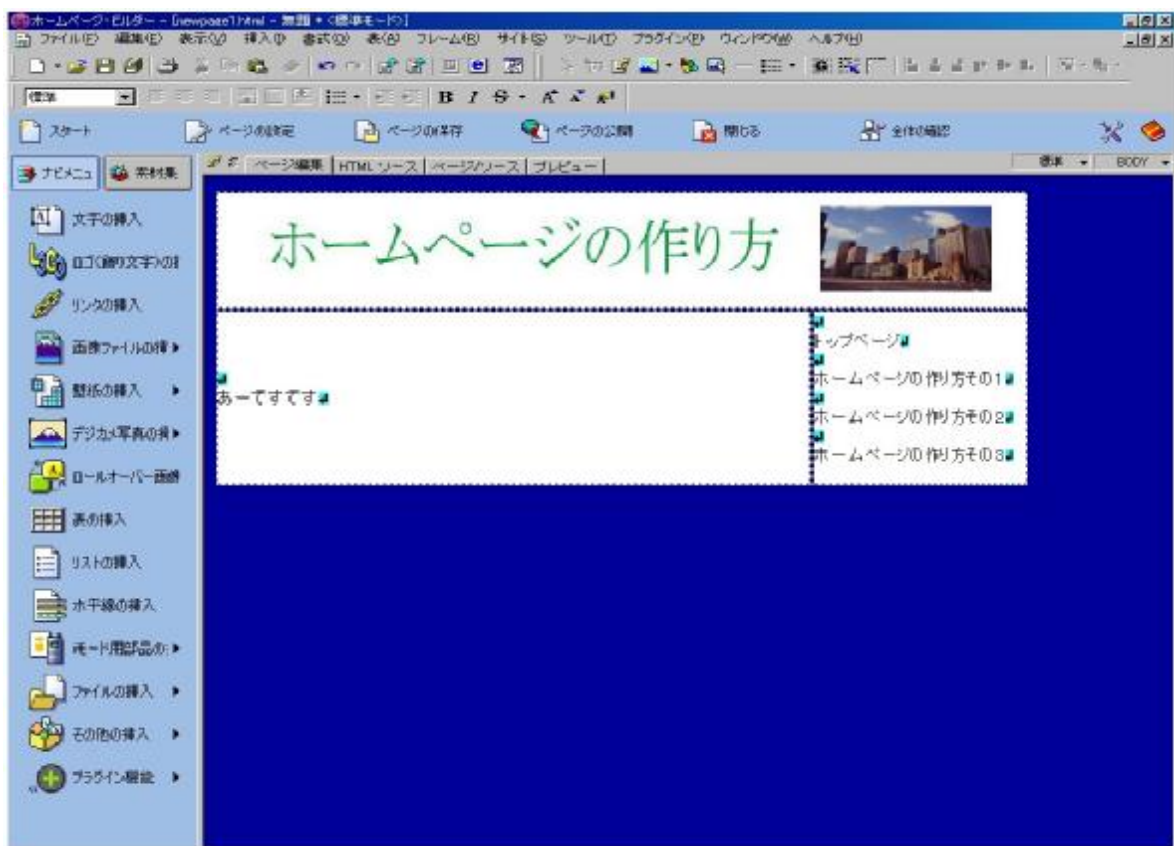
次に壁紙を設定してみましょう。

表が選択状態にならないようにして、右クリック → 属性の変更 → 背景/文字色 へと進みます。

ここで、いろいろ設定ができるようになっています。背景の色を変えてみましょう。

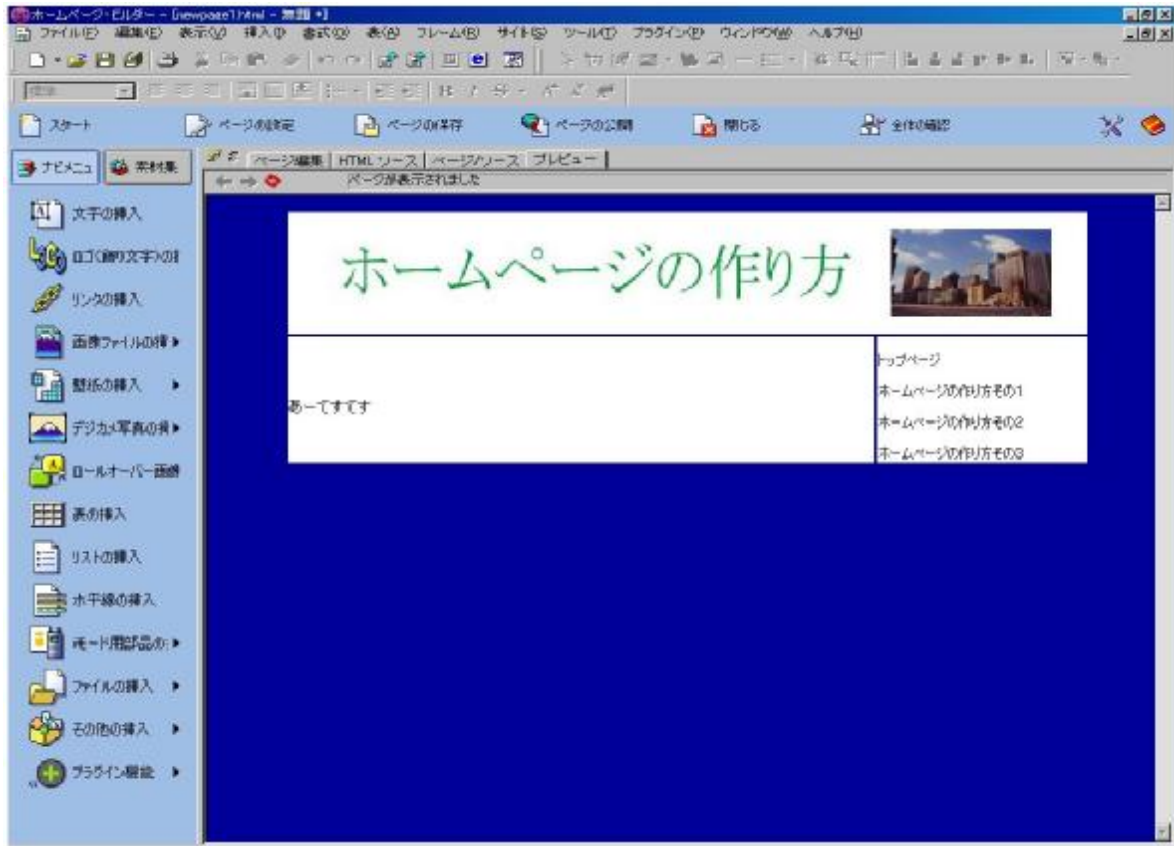


おっと、こんなふうになってしまいました。これはまずいですね。表をドラッグして選択状態にして、右クリック → 属性の変更 で、表の中の色を白に指定しましょう。



最後に、表をセンタリングして・・・





プレビュー画面だとこんな感じになります。

次に、メニューの ファイル → ページの複製 でページを増やしてください。

まったく同じページを量産することができます。

ページを量産したら、右側のリンク部分に量産したページを設定して、それぞれのページをジョイントします。

あとは、各ページにコンテンツを埋めていけば、立派なホームページの出来上がり、というわけです。